

## 第2回病院連絡会結果の概要①（泉州二次医療圏）

### 1 第2回病院連絡会の参加状況と病院プラン等<sup>※1</sup>の提出状況

保健所名	公立・公的・民間等	対象 <sup>※2</sup> 病院数 (A)	出席病院数 (B)	参加率 (B)/(A)	プラン提出病院数 (C)	提出率 (C)/(A)	プラン未定出病院 (第2回病院連絡会開催時点)
和泉保健所	公立	3	3	100.0%	3	100.0%	
	公的	1	1	100.0%	1	100.0%	
	民間等	17	16	94.1%	16	94.1%	奥村病院
	合計	21	20	95.2%	20	95.2%	
岸和田保健所	公立	2	2	100.0%	2	100.0%	
	公的	0	0	—	0	—	
	民間等	18	18	100.0%	18	100.0%	
	合計	20	20	100.0%	20	100.0%	
泉佐野保健所	公立	2	2	100.0%	2	100.0%	
	公的	1	1	100.0%	1	100.0%	
	民間等	19	16	84.2%	18	94.7%	りんくう永山病院 (調査対象期間後に開設(2017年11月)されたため)
	合計	22	19	86.4%	21	95.5%	
合計	公立	7	7	100.0%	7	100.0%	
	公的	2	2	100.0%	2	100.0%	
	民間等	54	50	92.6%	52	96.3%	
	合計	63	59	93.7%	61	96.8%	

※1: ※公的医療機関等2025プラン、新公立病院改革プランにかかる補足調査、将来に向けた病院のプランに関する調査病院

※2: 病院連絡会の対象は、病床機能報告対象

## 第2回病院連絡会結果の概要②【泉州二次医療圏】

### 2. 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）【泉州二次医療圏】

- 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）について、病院連絡会において認識の共有を図った。
- 2025年に向け、回復期（サブアキュート・ポストアキュート・リハビリ）機能への転換が必要と考えられる病床を指標にする。
- 高度急性期・急性期病床数は他の圏域に比べて少なく、病床稼働率は極めて高い。  
今後はこの点も考慮し、急性期から回復期への病床転換については、慎重に検討すべきである。

#### 参考：（和泉保健所）将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性に対する見解

・将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）については、病院連絡会において認識の共有を図った。  
・意見として、①公立、公的、民間病院との間で役割分担が既に出来ている。②公立、公的病院は高度医療及び急性期の医療を中心に行っていきたい。③政策医療的な分野、救急・災害・小児・妊産婦で精神疾患の合併症のある患者の治療などの分野は公立・公的病院が担うべきである。④民間病院ではポストアキュート、サブアキュート、リハビリといった地域急性期、回復期を中心になっていく。⑤民間病院は、その病院が持つ特色を生かしながら地域に密着した医療を実施すべき。⑥介護療養病床は地域に偏りがあり、特に和泉保健所管内には多い。同病床が全て介護医療院への転換されれば、管内の慢性期病床が不足することになる。⑦在宅医療を進めるためには、病院だけでなく、介護施設やサ高住の動向を注視することが必要などの発言があった。

#### 参考：（岸和田保健所）将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性に対する見解

・将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）については、病院連絡会において認識の共有を図った。  
・患者の流出入も大きく、急を要さない部分については医療機関を選択できる状況があり、広域で病床を考えていく部分があっては良いのではないかと意見が一部のグループより出た。  
・地域包括ケア病棟の導入等にあたっては診療報酬制度の動向が不透明ということもあり見極めが必要だという意見が一部より出た。

#### 参考：（泉佐野保健所）将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性に対する見解

・将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）については、病院連絡会において認識の共有を図った。  
・高齢者救急の搬送体制を検討する必要がある。  
・現状の回復期・慢性期を維持し、地域密着型の柔軟な医療を継続する。

#### （参考）2025年に向けた各病院の病床機能転換検討状況総計【泉州二次医療圏】

【参考】  
泉州二次医療圏全体の  
病床機能別検討状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
公立	145	▲ 134	24	0	35
公的	0	0	0	0	0
民間等	9	▲ 29	146	▲ 289	▲ 163
全体	154	▲ 163	170	▲ 289	▲ 128

ただし、「※」の病床数については、現在、病床過剰地域であり、新たな病床整備はできないので、集計にカウントしていません。

## 第2回病院連絡会結果の概要③ 【泉州二次医療圏-和泉保健所管内】

和泉保健所管内

### 3. 公立病院/公的病院/民間等病院(2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能、病床の運用状況の報告がない病院) の一覧

区分 ・公立 ・公的 ・民間	保健所	市町村	医療機関名	出席状況 (第2回病院 連絡会)	プラン内容 修正報告 (第2回病院 連絡会)	許可 病床数 (一般・ 療養)	2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無										非稼働病床について (一般病床・療養病床)		当該病院に対する 他病院からの意見  ※2025年に向けた病床機 能・病床数等の変更、非稼 働病床を有する理由の説 明に対して		
							(転換数)	(転換数)	(転換数)	(転換数)	(転換数)	介護 医療院 への転換	介護老人 保健施設 への転換	その他の 介護施 設・ 福祉施設 への転換	転換 予定病床 (第2回病院 連絡会以後)	【プラン・連絡会での病院の説明】		非稼働 病床数		【プラン・連絡会での病院の説明】 病床を稼働していない理由 (非稼働病床を有する理由)	
							高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計					機能変更 (予定) 時期	具体的なプラン				
公立	和泉	和泉市	和泉市立総合医療センター	○	○	307	142	▲ 152	24	0	14					○	2018年 4月 未定	2018年4月病院開設時に、非稼働病床14床と一般病床7対1(急性期)18床を、高度急性期(ハイアット管理料2)8床新設、一般病床7対1(回復期)24床に病床機能を転換。 将来的には、さらに一般病床7対1(急性期)134床を特定集中管理室管理料1(高度急性期)8床、一般病床7対1(高度急性期)126床への転換を検討中。	14	2018年4月病院開設時に非稼働病床解消済。	-
公立	和泉	和泉市	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター	○	○	375	3	9	0	0	12					○	2018年 4月	2018年4月に、非稼働病床12床を総合周産期特定集中治療室管理料(高度急性期)3床、小児入院医療管理料1(急性期)9床として稼働。 31年度に策定を予定しているセンター建替基本構想において病床機能・病床数を検討する。	24	2018年4月に高度急性期(総合周産期特定集中治療室管理料)3床稼働、急性期(小児入院医療管理料1)9床稼働して12床は解消、残りの12床は31年度に策定を予定しているセンター建替基本構想において病床機能・病床数を検討する。	-
公立	和泉	泉大津市	泉大津市立病院	○	○	230	0	3	0	0	3					○	2018年 4月	2018年4月に非稼働病床3床、小児入院管理料3(急性期)4床、一般病床10対1(急性期)99床を、一般病床7対1(急性期)52床、地域包括ケア病棟(急性期)54床を機能を転換。	3	2018年4月に解消。	-
公的	和泉	和泉市	府中病院	○	-	380	0	26	▲ 26	0	0					○	未定	現在の機能を大きく変える予定はないが、将来的には回復期リハビリテーション病床(回復期)26床を一般病床7対1(急性期)への機能の転換も視野にいれて検討中。	0		-
民間	和泉	和泉市	医療法人河和会 河和会病院	○	○	60	0	0	48	▲ 48	0					○	未定	現在の機能を大きく変える予定はないが、将来的には慢性期(療養病棟入院基本料1)48床を回復期(地域包括ケア病棟入院基本料1)への転換も検討している。	0		-
民間	和泉	和泉市	医療法人和泉会 和泉丘病院	○	○	4	-	-	-	-	-					-	-		4	精神疾患に加えて、内科疾患の合併症患者を受け入れられる病床として機能させていきたいと考えている。	-
民間	和泉	和泉市	医療法人新仁会 新仁会病院	○	○	170	0	0	0	▲ 48	▲ 48	○				○	2019年 以降	介護療養病床(慢性期)48床を介護医療院へ転換。	0		-
民間	和泉	和泉市	医療法人橋会 横山病院	○	○	80	0	0	0	▲ 80	▲ 80	○				○	2019年 以降	介護療養病床(慢性期)80床を介護医療院へ転換。	0		-
民間	和泉	高石市	医療法人良秀会 高石藤井病院	○	○	159	0	4	0	0	4					○	2018年 9月	法人内の病床移動(高石藤井病院、高石藤井心臓血管病院、藤井病院、河崎内科病院、泉南西出病院(40床)廃院))により一般病床10対1(急性期)を4床増床。	0		-
民間	和泉	高石市	医療法人良秀会 高石藤井 心臓血管病院	○	○	32	9	0	0	0	9					○	2018年 9月	法人内の病床移動(高石藤井病院、高石藤井心臓血管病院、藤井病院、河崎内科病院、泉南西出病院(40床)廃院))により一般病床10対1(高度急性期)を9床増床。 済。将来的には全病床を高度急性期(一般病床7対1)に変更予定。	0		-
民間	和泉	高石市	医療法人医進会 高石加茂病院	○	-	78	0	0	24	▲ 24	0					○	未定	療養病棟入院基本料1(慢性期)24床を地域包括ケア病棟入院料1(回復期)へ転換する予定。	0		-

## 第2回病院連絡会結果の概要④【泉州二次医療圏-和泉保健所管内】

和泉保健所管内

### 4. その他（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能以外）民間病院一覧

区分 ・公立 ・公的 ・民間	保健所	市町村	医療機関名	出席状況 (第2回病院 連絡会)	許可 病床数  (一般・ 療養)	その他病院からの説明
民間	和泉	和泉市	社会医療法人啓仁会 咲花病院	○	94	急性期50床、回復期44床、特に変更なし。
民間	和泉	和泉市	医療法人琴仁会 光生病院	○	145	現在、回復期リハ棟(35床)あり。整形外科の二次救急告示病院となっており、透析医療も行っている。今後も現状の機能を充実・強化していきたい。
民間	和泉	和泉市	医療法人聖和錦秀会 阪和いずみ病院	○	90	基本的には精神病院だが、継続して慢性期医療を担っていききたい。介護療養病床の変更については今後検討予定。精神科の訪問看護は現在も実施。訪問診療の開始予定はない。
民間	和泉	和泉市	医療法人守田会 いぶきの病院	○	340	現在の機能から転換予定はない。
民間	和泉	泉大津市	医療法人吉川会 吉川病院	○	59	現在は医療療養病床として慢性期機能を担っているが、今後回復期への転換も検討中。転換に関しては、人員の確保が課題。将来的に生活習慣病に特化した診療科の新設を予定。
民間	和泉	泉大津市	医療法人穂仁会 原病院	○	94	将来的にはリハビリテーション医療を核とした回復期医療を提供していきたい。
民間	和泉	泉大津市	医療法人泉秀会 かわい病院	○	46	現状の整形外科を中心とする急性期病床を維持する方向
民間	和泉	高石市	医療法人博我会 高石病院	○	88	介護療養病床を医療療養病床へ変更したい。
民間	和泉	忠岡町	医療法人穂仁会 聖祐病院	○	47	現在の病床機能を維持していき、転換は検討していない。

## 第2回病院連絡会結果の概要③ 【泉州二次医療圏-岸和田保健所管内】

岸和田保健所管内

### 3. 公立病院/公的病院/民間等病院(2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能、病床の運用状況の報告がない病院) の一覧

区分 ・公立 ・公的 ・民間	保健所	市町村	医療機関名	出席状況 (第2回病院 連絡会)	プラン内容 修正報告 (第2回病院 連絡会)	許可 病床数 (一般・ 療養)	2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無										非稼働病床について (一般病床・療養病床)		当該病院に対する 他病院からの意見  ※2025年に向けた病床機能・病床数等の変更、非稼 働病床を有する理由の説明に対して		
							(転換数)	(転換数)	(転換数)	(転換数)	(転換数)	介護 医療院 への転換	介護老人 保健施設 への転換	その他の 介護施設・ 福祉施設 への転換	転換 予定病床 (第2回病院 連絡会以後)	【プラン・連絡会での病院の説明】		非稼働 病床数		【プラン・連絡会での病院の説明】  病床を稼働していない理由 (非稼働病床を有する理由)	
							高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計					機能変更 (予定) 時期	具体的なプラン				
公立	岸和田	岸和田市	市立岸和田市民病院	○	○	400	0	6	0	0	6					○	—	引き続き高度急性期を担っていく。医師確保により病床を稼働する(急性期(緩和ケア)6床)。	6	過去1年間にもっとも多く患者を収容した時点で使用した病床数を差し引いて算出。医師確保を行い、稼働する。	病床稼働率を上げ、地域に貢献してほしい。
公立	岸和田	貝塚市	市立貝塚病院	○		249	0	0	0	0	0					○	—	今後2025年を見据えて病床稼働率(66.6%)をどのようにしていくかを検討中。医師確保に努める。	0		—
民間	岸和田	岸和田市	医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院	○	○	341	59※	0	0	0	59※					○	未定	今の機能(高度急性期)を強化していく。特定ベッド比率を上げ、病床数・機能とも強化していきたい。2025年に向け、全部で高度急性期400床規模に増床(一般病棟7対1を39床、救命救急入院料1を10床、ハイケアユニット管理料を10床、それぞれ増床)できれば。	0		岸和田徳洲会病院にかなり患者が集中しており、他圏域からの流入も多いように見受けられるので、増床したいというは理解できる。しかし増床に伴い、他で減床するというは慎重になるべき。
民間	岸和田	岸和田市	医療法人阪南会 天の川病院	○		99	0	0	16	▲16	0					○	未定	医療療養1・介護療養(慢性期)16床を地域包括ケア病棟入院料1(回復期)へ変更。地域包括ケア病棟を中核として、急性期病院からのポストアキュート、在宅からのサブアキュートの受け入れを中心に担ってきたい。	0		—
民間	岸和田	岸和田市	医療法人良秀会 藤井病院	○	○	122	0	0	0	33	33					○	2018年7月	法人内の病床移動(高石藤井病院、高石藤井心臓血管病院、藤井病院、河崎内科病院、泉南西出病院(40床)廃院))により医療療養1(慢性期)を33床増床済み。透析患者用に増床。	0		—
民間	岸和田	岸和田市	医療法人えいしん会 岸和田リハビリテーション病院	○	○	157	0	▲7	7	0	0					○	2018年4月	2018年4月移転、現在機能変更済み。急性期は一般病棟10対1(24床)を一般病棟7対1(17床)に、回復期は回復期リハ1(133床)を140床に転換。ポストアキュートとしての回復期を担う。	0		—
民間	岸和田	岸和田市	社会福祉法人寺田萬寿会 寺田萬寿病院	○		250	0	0	25	▲25	0	○				○	未定	医療療養1(慢性期)25床を地域包括ケア病棟(回復期)へ転換を検討中。介護医療院への転換についても視野に入れて検討中。	0		—
民間	岸和田	貝塚市	医療法人積善会 高橋病院	○	○	102	0	0	0	▲75	▲75	○				○	未定	介護療養病床(慢性期)75床を介護医療院への転換予定。	0		—

※現在、病床過剰地域であるため新たな病床整備は出来ないが、病院の将来構想としてプランを提出いただいている(新たな病床整備について、認めるものではない)。

## 第2回病院連絡会結果の概要④【泉州二次医療圏-岸和田保健所管内】

### 岸和田保健所管内

#### 4. その他（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能以外）民間病院一覧

区分 ・公立 ・公的 ・民間	保健所	市町村	医療機関名	出席状況 (第2回病院 連絡会)	許可 病床数 (一般・ 療養)	その他病院からの説明
民間	岸和田	岸和田市	医療法人曹救館 和田病院	○	60	訪問診療に力を入れている。在宅医療を増やしていきたい。
民間	岸和田	岸和田市	一般財団法人岸和田農友協会 岸和田平成病院	○	149	現状から変更予定なし。
民間	岸和田	岸和田市	医療法人社団柴田会 久米田外科整形外科病院	○	60	都度ニーズに応じて検討していく。
民間	岸和田	岸和田市	医療法人亀井会 亀井病院	○	60	現状から変更予定なし。
民間	岸和田	岸和田市	医療法人大植会 葛城病院	○	243	引き続き急性期を中心とした機能を担う。
民間	岸和田	岸和田市	医療法人吉栄会 吉川病院	○	55	現状から変更予定なし。引き続き回復期リハビリテーションの役割を担っていく。
民間	岸和田	岸和田市	医療法人宝山会 小南記念病院	○	152	地域包括ケア病棟や介護医療院への転換を含めて見直しを検討中である。診療報酬基準の変更など不確定要素もあるため、踏み切れない。
民間	岸和田	岸和田市	医療法人聖志会 渡辺病院	○	100	精神病床を減らし、住宅型有料老人ホームへ転換予定。
民間	岸和田	岸和田市	医療法人ふれ愛の杜 みどり病院	○	40	現状から変更予定なし。訪問診療、訪問看護について今後増やしていきたい。
民間	岸和田	貝塚市	医療法人青山会 青山病院	○	57	現状から変更予定なし。
民間	岸和田	貝塚市	医療法人尚生会 西出病院	○	34	一般病床34床だが、病床稼働率が低い。築35~40年と古いので、新病院の建設計画あり。病床数は減らす予定。
民間	岸和田	貝塚市	社会医療法人慈薫会 河崎病院	○	129	二次救急を中心に地域包括ケアシステムをにらみながら地元の需要にこたえていく。

## 第2回病院連絡会結果の概要③ 【泉州二次医療圏-泉佐野保健所管内】

泉佐野保健所管内

### 3. 公立病院/公的病院/民間等病院(2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能、病床の運用状況の報告がない病院) の一覧

区分 ・公立 ・公的 ・民間	保健所	市町村	医療機関名	出席状況 (第2回病院 連絡会)	プラン内容 修正報告 (第2回病院 連絡会)	許可 病床数 (一般・ 療養)	2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無										非稼働病床について (一般病床・療養病床)		当該病院に対する 他病院からの意見  ※2025年に向けた病床機 能・病床数等の変更、非稼 働病床を有する理由の説 明に対して		
							(転換数)	(転換数)	(転換数)	(転換数)	(転換数)	介護 医療院 への転換	介護老人 保健施設 への転換	その他の 介護施 設・ 福祉施設 への転換	転換 予定病床 (第2回病院 連絡会以後)	【プラン・連絡会での病院の説明】		非稼働 病床数		【プラン・連絡会での病院の説明】 病床を稼働していない理由 (非稼働病床を有する理由)	
							高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計					機能変更 (予定) 時期	具体的なプラン				
公立	泉佐野	泉佐野市	りんくう総合医療センター	○	○	378	0	0	0	0	0					○	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期センター、救命救急センターを担う。</li> <li>・国際診療を強化する。</li> <li>・今後も高度急性期病院として医療を提供する。</li> <li>・政策医療。</li> </ul>	0		-
公立	泉佐野	阪南市	社会医療法人生長会 阪南市民病院	○	-	185	0	0	0	0	0					○	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のニーズに沿った政策医療。</li> <li>・地域の災害拠点。</li> <li>・障がい児患者の対応。</li> <li>・365日24時間対応。</li> </ul>	0		-
公的	泉佐野	泉南市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会 新泉南病院	○	-	26	0	▲26	26	0	0					○	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床26床を急性期から回復期機能に変更。</li> <li>・サブアキュート、高度急性期からのポストアキュートを担う。</li> <li>・他病院との連携を続ける。</li> </ul>	0		-
民間	泉佐野	泉佐野市	医療法人良秀会 河崎内科病院	○	○	66	0	0	0	▲6	▲6					○	2018年 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の病床移動(高石藤井病院、高石藤井心臓血管病院、藤井病院、河崎内科病院、泉南西出病院(40床)廃院))により医療療養2(慢性期)を6床減少。</li> <li>・慢性期医療を中心に担う。</li> <li>・2025年に診療科の廃止を検討中。</li> </ul>	0		-
民間	泉佐野	泉南市	医療法人功德会泉南 泉南大阪晴愛病院	○	○	95	0	▲26	26	0	0					○	2018年 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急性期(一般病棟10対1)40床のうち、26床を回復期(地域包括ケア)に変更。</li> <li>・急性期医療、サブアキュート・ポストアキュートを中心に担う。</li> <li>・在宅・長期療養の開始を検討中。</li> </ul>	0		-

第2回病院連絡会結果の概要④【泉州二次医療圏-泉佐野保健所管内】

泉佐野保健所管内

4. その他（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能以外）民間病院一覧

区分 ・公立 ・公的 ・民間	保健所	市町村	医療機関名	出席状況 (第2回病院 連絡会)	許可 病床数 (一般・ 療養)	その他病院からの説明
民間	泉佐野	泉佐野市	医療法人 青松記念病院	○	60	・重症患者の橋渡し役を担う。
民間	泉佐野	泉佐野市	東佐野病院	○	138	・近隣の精神科病院からの患者引き受け。 ・近い将来、他病院との統合を検討中。
民間	泉佐野	泉佐野市	医療法人桂信会 羽原病院	○	70	・地域完結型病院。 ・地域入院基本料3→1を目指す。
民間	泉佐野	泉佐野市	福田病院	×	40	・慢性期医療を担う。
民間	泉佐野	泉佐野市	医療法人仙寿会 泉佐野病院	×	60	・慢性期医療を担う。
民間	泉佐野	泉佐野市	医療法人定生会 谷口病院	○	37	・不妊手術(子宮内膜症・子宮筋腫)件数増加を目指す。 ・地域の出生数増加への貢献を目指す。
民間	泉佐野	泉佐野市	社会医療法人栄公会 佐野記念病院	×	95	・急性期医療を担う。 ・整形外科領域の専門性の高い手術加療の提供。
民間	泉佐野	泉佐野市	医療法人康生会 泉佐野優人会病院	○	265	・ポストアキュート、サブアキュートを担う。
民間	泉佐野	泉南市	医療法人白卯会 白井病院	○	77	・精神科病床322床→315床に変更済(2018年3月)。 ・地域密着型病院。 ・認知症の啓発活動。 ・病床数のダウンサイジングを検討中。
民間	泉佐野	泉南市	医療法人晴心会 野上病院	○	163	・2025年に向け、急性期・地域包括ケア病床を増床する。 ・多機能な方向性を目指し、総合力を備えて地域医療を行う。
民間	泉佐野	泉南市	和泉南病院	○	160	・地域のニーズに沿った老人医療を担う。
民間	泉佐野	泉南市	医療法人功徳会 大阪晴愛病院	○	69	・サブアキュート、ポストアキュートの役割を中心に効率的なリハビリを提供。 ・在宅と救急を再開させる。
民間	泉佐野	阪南市	医療法人泉南玉井会 玉井整形外科内科病院	○	75	・整形外科、内科に対応。
民間	泉佐野	阪南市	医療法人文胸医会 大阪リハビリテーション病院	○	126	・眼科を再開させる。 ・専門領域を中心に亜急性期を中心に担う。
民間	泉佐野	熊取町	永山病院	○	230	・地域密着型病院。 ・救急対応(三次救急を除く)。 ・糖尿病患者、高齢者の眼科治療。
民間	泉佐野	岬町	医療法人誠人会 与田病院	○	301	・緊密な地域連携の継続。 ・社会的入院の減少。
民間	泉佐野	泉佐野市	りんくう永山病院	○	120	・2017年11月開設。 ・訪問診療、訪問看護を開始する。